



正月に向けて準備開始 しめ飾り清祓い式

町内の生花店「花と緑の部屋 たかはしダリア」の本店倉庫で12月13日、正月用しめ飾りの清祓い式が行われました。新年を迎える準備を始める日である、同日の正月事始めを前に行われる恒例行事。玄関用の「玉ジメ」、神棚用の「宝船」など、約40種類、4000点以上のしめ飾りが並べられ、御祓いを受けました。



絵本を通じてトラックに親しみを 札幌地区トラック協会が絵本を寄贈

一般社団法人 札幌地区トラック協会が町内の施設に絵本を寄贈しました。同協会は毎年、町に絵本を寄贈していて今年で6回目。12月7日、同協会の工藤英人支部長と藤本光春事務局長が吉田政和教育長に手渡しました。寄贈されたのは札幌市在住の絵本作家そらさん作の「ランディーとクレアのはなびまつり」。絵本は福祉施設や図書館など全12施設に贈られます。



体験学習の成果を発表 ふるさとキャリア教育体験発表会

ふるさとキャリア教育体験発表会が11月27日、総合福祉センター「しゃるる」で行われました。町内の小中学生が、体験学習で学んだ栗山の魅力をリモートで発表。角田小学校児童は「私たちも、町の自然を守る取り組みに参加したいです」と話していました。また、栗高生が栗山の環境保全について発表したほか、町内4つの企業・事業所が、それぞれの業務を紹介しました。



酒造りの無事を祈願 小林酒造祈禊祭

小林酒造株式会社で11月18日、蔵人の安全とおいしい酒の完成を祈願する祈禊祭が行われました。空知管内12神社合同の神事とし、今年は夕張神社の手塚整輝宮司など3人の宮司が代表して執り行い、小林米三郎社長をはじめ関係職員らが参列。今季の酒造りの成功と安全を祈りました。仕込み作業は3月下旬まで続きます。



クリスマスにオリジナルの飾りを クリスマスワークショップinあさひ工房

クリスマスオーナメント（クリスマスの飾り）づくりを体験するワークショップが12月17日、ファブラボ栗山^{ベータ}（あさひ工房内）で行われました。参加者が紙に絵を描き、スタッフの地域おこし協力隊員がUVプリンターで木板に印刷して、世界に一つだけのオーナメントが完成。家族4人で参加したセグレタン・パティスさんは「HAPPY!」と話していました。



ガラポン抽選会も盛り上げる コミュニティ放送局開設PRイベント

コミュニティ放送局開設のPRイベントが12月15・16日、まちの駅「栗夢プラザ」で行われました。地域おこし協力隊の深澤雅一隊員がパーソナリティーを務め、トークやギターの生演奏を実施。「コミュニティ放送局の開設に向けて、よろしくお願いします」と呼びかけました。また、会場では駅前商店街のガラポン抽選会も開催され、深澤隊員も抽選会を盛り上げました。



継立小学校の窓ガラスを清掃 武ダ技研創株式会社が奉仕活動

武ダ技研創株式会社（札幌市）の社員4人が、12月3日、継立小学校の窓ガラス清掃を行いました。同社はボンアノロ川の河川整備業務を担当しており、社会貢献の一環として、今回の奉仕活動を実施。校舎前面と側面の窓は長柄のブラシで磨かれ、2階の窓は高所作業車により細かく位置を調整しながら清掃されました。



町内保育施設で新米をプレゼント JAそらち南青年部

JAそらち南青年部が町内保育施設を訪問し、新米をプレゼントしました。子どもたちの農業への理解向上や地産地消などが目的。「ゆめぴりか」など約430kgの新米が用意され、11月26日に栗山いちい認定こども園・継立まづば保育園・マロンキッズ保育園、11月30日に栗山めぐみこども園の園児たちに贈呈されました。配布された新米は、園の給食に使用される予定です。

